

柘形中通信 2号

「気づき・考え・行動する」生徒とともに 校長 岩崎 知美

色鮮やかな花々に包まれ、春の香りが満ちあふれる、春爛漫のこの良き日に入学式を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

本校は柘形の丘に学校があり、ふもとには梨園が広がっていることから、校章にはマスの形の中に梨の花を配した地域を象徴したデザインとなっています。

また、柘の四角は本校の学校教育目標である「知・情・意・体」のそれぞれを意味付け、心身ともに健全で調和の取れた人間性豊かな生徒の育成を表し、白い梨の花弁は清純な心をおしべの深紅は、若さに燃える生徒を現しています。

今年度の入学式は、2月に完成した新しい体育館での初めての入学式となります。この新しい体育館で、今後みなさんの生き生きとした活動が見られることを楽しみにしています。

3月には学区の3小学校の卒業式に参加させていただきました。その卒業式でのみなさんの姿、呼びかけ、合唱、どれをとっても立派で感動的でした。そうしたみなさんが柘形中学校に入学し、さらに活躍してくれることを期待しています。中学校では小学校と違った点も沢山出てくると思います。学習や部活動、生徒会活動など、より幅広い活動になります。新しい友達や先生との出会いも多く、皆さんの視野はますます広がるでしょう。困難に直面することもあるかもしれませんが、その一つ一つが皆さんを成長させる大切な経験です。

また、また本校では、育てたい生徒像を「気づき・考え・行動する」生徒としています。この三つの力は、授業はもちろんのこと、学級活動や学校行事、部活動、どのようなときにも必要とされる大切な力であると考えています。新入生のみなさんにも3年間で身に付けていってほしいと思います。

今日ここにいる120名は、これからの3年間で、共に過ごす大切な仲間です。たくさんの友達を作って、友情を育てていってください。

保護者の方々、地域の方々、そして私たち教職員も、みなさんの成長に限りない期待を寄せています。

結びとなりますが、手塩にかけて育てられたお子様を、本日より皆様の期待と信頼に応えられるよう、教職員一同、心をつにして、責任を持ってお預かりいたします。

どうかこの間、本校の教育活動に深いご理解と、力強いご支援、そしてご協力を賜りますようお願いいたしまして、式辞といたします。

(4月6日入学式式辞より)